

連吟

淡路 シテ 鈴木 紀子 ワキ 青山 圭佑 地 三武 孝 他男性会員

經正 シテ 熊部 智美 ワキ 岩井 さおり 地 菅原秀子 他女性会員

仕舞

鶴亀 長谷川 次八

鶴亀 山口 健次

鶴亀 森 庸一

.....

放下僧小歌 河野 健三

菊慈童 神崎 克子

松虫キリ 内田 節子

昭君 小島 洋子

素謡

トモ 金内ミヨ子

ツレ 星野 和子

小督 シテ 吉田 輝昭 ワキ 塩手 啓三

地頭 関口潔 副地頭 大友勝利、三武孝

實盛 シテ 龍田 啓子 ワキ 黒沢 裕美 ワキツレ 加藤 千恵子

地頭 深田晴美 副地頭 橋本鏡子、松島總子、他女性

連吟

遊行柳 シテ 西澤 慈幸 ワキ 佐川 武子

地 越後貫隆、山形隆康、姥澤賢、天野忠雄、伊東重章、長谷川次八、金山武志、

船舟慶 シテ 齊藤 三紀 子方 関口 節子 ワキ西尾 まつ枝 ワキツレ 鈴木 幸子

地 加藤千恵子、小島洋子、森川洋子、堤 美代子、中尾 操、鈴木紀子

仕舞

経 正キリ 川口 茂

弱法師 北島 大靖

蟬丸 関口 潔

善知鳥 斉藤 千賀子

野守 浅枝 秀隆

素謡

法皇 舍川 重隆 局 中尾 操 内侍 石井 静江

大原御幸 シテ 松島 總子 ワキ 山口 健次 ワキツレ (前後) 永野 由紀子

地頭 北島大靖 副地頭 平戸仁英、越後貫隆

仕舞

屋島 熊部 智美

班女 アト 岩井 さおり

女郎花 金山 武志

船橋 中尾 操

独吟

求塚 三武 孝

素謡

夫人 糸井 多倍子

咸陽宮 シテ 小林 宏三 ワキ 越後貫隆 ワキツレ 森 庸一

大臣 小島 洋子

仕舞

地頭 大江修一郎、副地頭 関口潔、河野健三

高砂 佐藤 文孝

田村キリ 初田 敏美

白楽天

尾崎 純子

鐘之段

三野 仁子

通小町

堤 美代子

連吟(メドレー)

龍田

シテ 齊藤千賀子 地頭 三野 仁子

紅葉狩

シテ 菅原 秀子 地頭 石井 静江

六浦

シテ 棟居 禮子 地頭 尾崎 純子

地謡(前列) 鈴木紀子、鈴木幸子、竹川綾子、関口節子

地謡(中列) 高井倫子、齊藤三紀、神崎克子、森川洋子、(後列) 地頭三人

舞囃子

羽衣キリ

平戸 仁英

太鼓 熊部智美 大鼓 中尾 操 小鼓 龍田啓子 笛 中山 真秀

地謡(前列) 薬師堂隆子、岩井さおり、(後列) 三武孝、青山圭佑、一坂洋三、

清経クセ

糸井多倍子

大鼓 橋本 鏡子 小鼓 近藤たね子 笛 中山 真秀

地謡(前列) 尾崎純子、三野仁子、(後列)、松島總子、黒沢裕美、齊藤千賀子

素謡

康頼 天野 忠雄 成経 伊東 重章

俊寛

シテ 一坂 洋三 ワキ 大久保直樹

地頭 青山圭佑、副地頭 山口健次、森川洋子

連吟

海士

シテ 近藤たね子 ワキ 神崎 克子 子方 深田 晴美

地謡 棟居禮子、菅原秀子、齊藤千賀子、石井静江、内田節子、堤美代子

独舞

班女アト

姥澤 賢

笛入り舞

融

シテ 薬師堂 隆子 笛 大久保 直樹
地謡 (前列) 山口健次、姥澤賢、(後列) 北島大靖、平戸仁英、関口潔

(16・25)

素謡

ツレ 大江修一郎

山姥

シテ 橋本 鏡子 ワキ 山形 隆康

地頭 舍川重隆、副地頭 平戸仁英、三武 孝

附祝言

(終演予定午後五時五十分)

○備考

- ① 謡の地謡には、会員及び会員のご友人の参加は原則として自由です。番組開始十分前にキリ戸口前に。
- ② 昼食は、能楽堂二階の食堂で用意致します。また、楽屋での給茶は省略します。
- ③ 会終了後、野毛の「一の蔵」にて懇親会を催します。

○素謡省略箇所

小督クセを省く ・ 實盛クセを省く

大原御幸①二丁裏の下歌と上歌を省く ②九丁表の上歌より、ロンギなど省き、十一裏のサシ(シテ)へ
咸陽宮省略箇所なし

俊寛①ツレの次第(連吟)から始め、二丁裏の上歌を省く ②三丁表シテサシ謡「玉兔晝眠る・・より、

四丁表「げにげに・・へ」・山姥ワキの道行より始め、クリ、サシを省く(次第のあとクセへ)

○連吟の範囲

淡路中入後

経正四丁表ワキ「不思議やな・・より、クセ留(・・夜遊や)」まで

遊行柳六丁裏の後シテの謡い出しより、八丁裏の地留・・仏果に到るべきのあと、ワカに跳び最後まで

船弁慶中入後

龍田サシ「然れば当国・・より、クセ留(・・今は渡さん)」まで

紅葉狩サシ「林間に・・より中入まで サシのワキはシテが謡う

六浦ワカ「秋の夜・・以降

海士十二丁裏のシテ「かくて浮かみは・・より、最後まで

○仕舞地謡担当(正面席に向かって左からの着座順、右端が袴後見)

第一群(鶴亀三番) 小島洋子、関口潔、舍川重隆、三武孝、浅枝秀隆・・無本、シテは予め並ぶ

第二群(放下僧ほか) 初田敏美、三武孝、平戸仁英、一坂洋三、山口健次(袴)

第三群(経正ほか) 薬師堂隆子、大江修一郎、平戸仁英、河野健三、長谷川次八(袴)

第四群(屋島ほか) 内田節子、青山圭佑、平戸仁英、北島大靖、森庸一・・無本、シテは予め並ぶ

第五群(高砂ほか) 森川洋子、舍川重隆、平戸仁英、中山真秀、姥澤賢(袴)

○舞囃子の謡いだし

羽衣東遊びの数々に・・より

清経シテの「さては仏神・・より、クセ留まで

融シテの「千恵降るや・・より